

5人の映画監督が語る現代中国映画の潮流

中国映画と私

2020年度「孔子学院の日」は、大阪産業大学孔子学院、四川省映画家協会、上海外国語大学文学研究院が共催で、『中国映画と私』というテーマでオンライン開催致します。

今回は、中国国内外で著名な5人の映画監督をお招きし、中国映画の歴史と現状、各自の代表作、最新作についてお話しいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

登壇者プロフィール



陸小雅 映画監督、脚本家。四川峨眉映画グループに所属。中国第四世代映画監督の代表的人物の一人。代表作『赤い服の少女』（1984）は中国映画の最高峰とされる金鷄賞（芸術映画賞）と百花賞（大衆映画賞）の二冠を獲得。『法廷内外』（1980）、『熱い恋』（1989）、『信じ難い』（2019）は東京国際映画祭をはじめ、香港、フランス、イタリア、インドなど国内外の映画祭で注目を集めた。



劉浩 映画監督、脚本家。北京映画学院監督学科修了。中国第六世代映画監督の代表的人物の一人。処女作『陳黙と美婷』は、2002年のベルリン国際映画祭で青年フォーラム最優秀アジア映画賞と処女作特別奨励賞を受賞。『ようこそ、羊さま』（2004）、『老那』（2010）、『詩人』（2011）、『北方へ向う』（2015）などはいずれも国内外の映画祭に出品。



孫小茹 映画監督、脚本家、エッセイスト。
北京映画学院大学院監督学科修了。女性三部作
と呼ばれる『水雨童話』（2006）、『完美偶像』
（2018）、『完美合奏』（制作中）は東京国際
映画祭をはじめ、30ヶ国の国際映画祭に出品。

『チベットの恋』（2001）、『カンティセ』（2003）は国内外の最優秀脚本賞を
獲得。現代中国の女性映画監督を代表する一人。現在、『特別なグループ』（2020
年）を制作中。



白海濱 映画監督、脚本家、映画プロデュー
サー。北京映画学院大学院監督学科修了。処女
作『米香』（2010）、『山の向こうに一匹の馬が
いる』（2016）は金鷄賞をはじめ、台湾、フラン
ス、ロシア、韓国、チリなど国内外の映画祭に

出品。



張弛 映画監督、脚本家。中国映画家協会創
作部部長、中国映画文学創作委員会常務副会長。
中央戯劇学院卒業。処女作『地下の天空』（2008）
はフランス、イタリアなど6ヶ国の国際映画祭
で受賞。映画『東京裁判』（2007）の脚本を担当

し、金鷄賞最優秀脚本賞を獲得。

時 間： 2020年9月27日（日）14：00～17：00 **オンライン開催**

使用言語： 中国語

対 象： 学生、社会人で、中国語及び中国文化に興味のある方

参加費： 無料

定 員： 100名

申込方法： 事前に下記メール宛てにお申し込みください。

申込完了後、メールにて Zoom URL をお知らせ致します。

連絡先： 孔子学院事務局

T E L 06-6442-5784

F A X 06-6442-5794

MAIL info@osu-confucius.jp